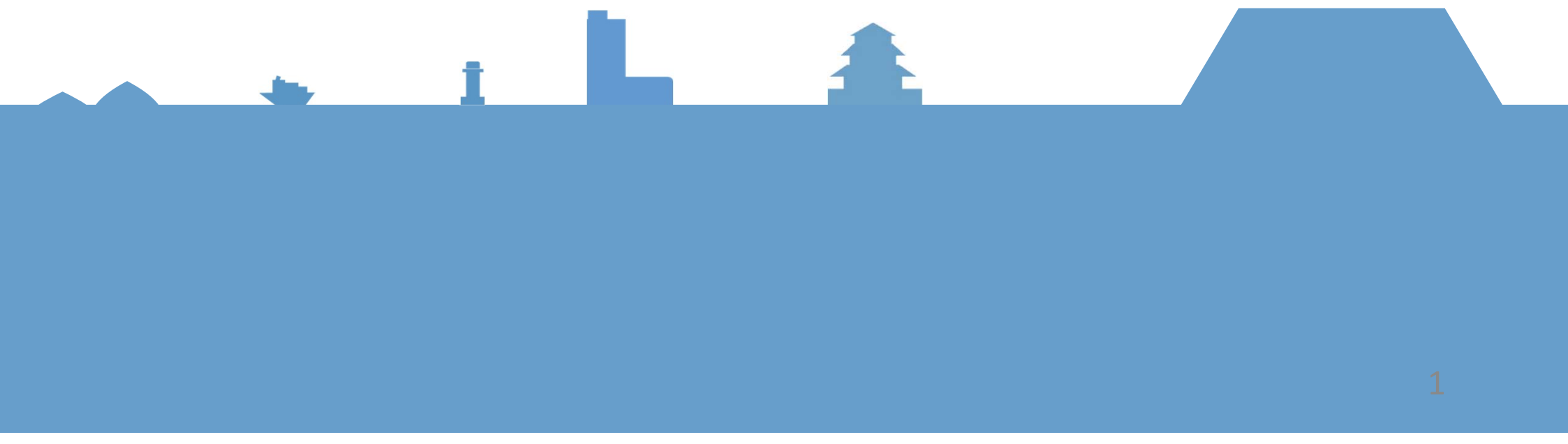


第3期高松市 文化芸術振興計画（案） の概要について



■ 計画の構成

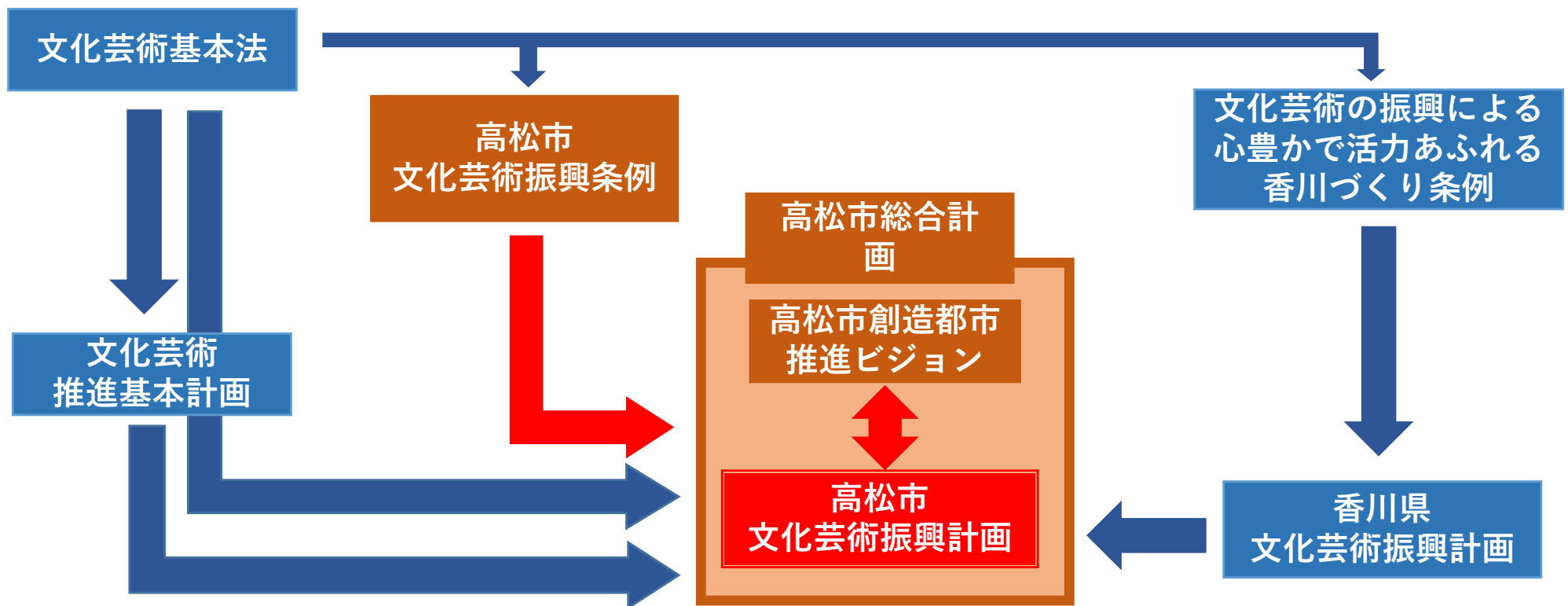
第3期高松市文化芸術振興計画（案）	第2期高松市文化芸術振興計画（現計画）
<p>第1章 計画策定に当たって</p> <ul style="list-style-type: none">・ 策定の趣旨・ 計画の位置付け・ 計画の期間・ 計画の策定体制・ 近年の高松市の文化芸術を取り巻く環境・ 高松市の文化芸術の現状と課題 <p>第2章 計画の体系と具体的な取組</p> <ul style="list-style-type: none">・ 目指すべき都市としての姿・ 4つの方針と10の基本的施策・ 数値目標・ 計画の体系・ 今後の取組 <p>第3章 計画の推進体制</p> <ul style="list-style-type: none">・ 計画の推進と評価	<p>第1章 計画策定に当たって</p> <ul style="list-style-type: none">・ 策定の趣旨・ 計画の位置付け・ 計画の期間・ 計画の策定体制・ 高松市の文化芸術を取り巻く環境と課題 <p>第2章 計画の体系と具体的な取組</p> <ul style="list-style-type: none">・ 目指すべき都市としての姿・ 4つの方針と10の基本的施策・ 数値目標・ 計画の体系・ 今後の取組 <p>第3章 計画の推進体制</p> <ul style="list-style-type: none">・ 計画の推進・ 評価、進行管理

第1章 計画策定に当たって

■策定の趣旨

文化芸術の振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進する第2期高松市文化芸術振興計画（2019～2023）の計画期間が終了するため、第2期計画策定後からの文化芸術を取り巻く環境の変化やこれまでの取組等を踏まえながら、引き続き文化芸術の振興を推進するため、「**第3期高松市文化芸術振興計画**」を策定します。

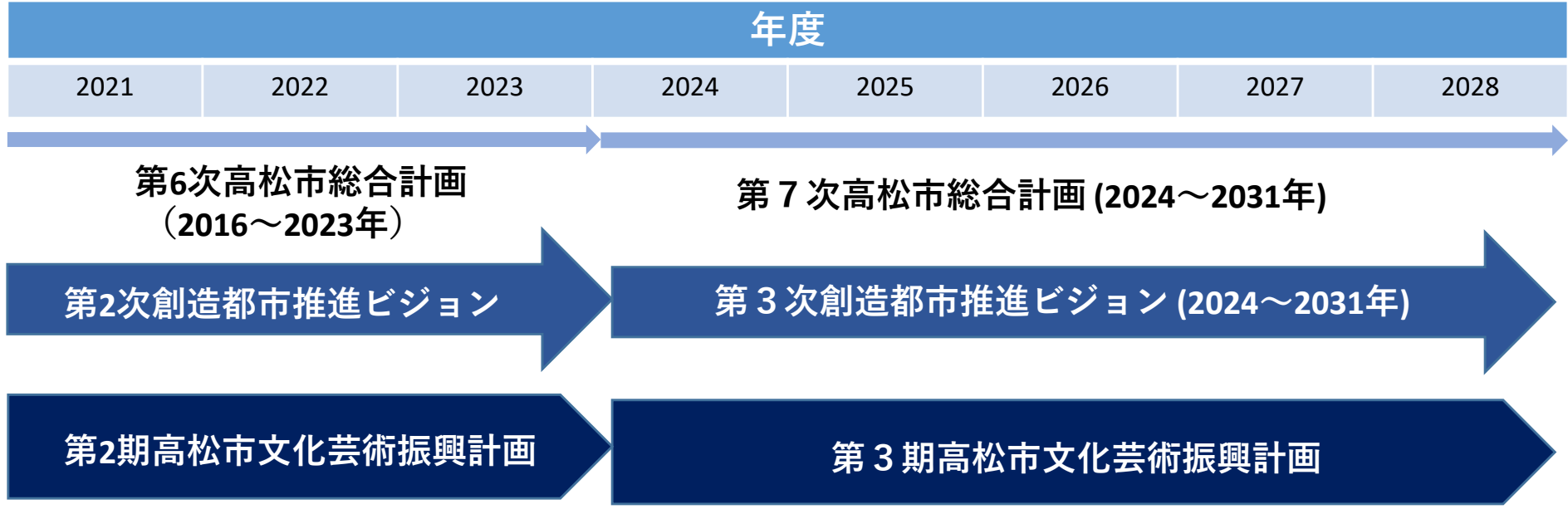
■計画の位置付け



■計画の期間

令和6年度から令和10年度まで（5年間）

具体的な取組項目については、社会情勢や市民ニーズの変化等に応じ、適宜見直しを行うものとします。



■近年の高松市の文化芸術を取り巻く環境

●高松市の歩みと現状

- ・ サポートホール高松の大規模改修
- ・ 高松市屋島山上交流拠点施設「やしまーる」の完成
- ・ 史跡高松城跡における桜御門の復元
- ・ コロナ禍における瀬戸内国際芸術祭2022、第5回高松国際ピアノコンクールの開催
- ・ コロナ禍における文化芸術振興事業
(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業の推進)
- ・ 高松版文化芸術プレイヤーズ・プラットフォーム構築の推進



©BANAZO

●文化芸術を取り巻く社会状況の変化

- ・ 新型コロナウイルス感染症の世界的拡大
- ・ 少子高齢化による文化芸術の担い手の減少
- ・ デジタル芸術といった新たな分野の進展
- ・ 持続可能な開発目標 (SDGs) の推進



●近年における国の文化政策

- ・平成29年6月「文化芸術振興基本法」が改正され「文化芸術基本法」になる。

「文化芸術基本法」に基づき、文化芸術の振興に関する施策の総合的な推進を図るため、「文化芸術推進基本計画」を策定しており、「**文化芸術推進基本計画－文化芸術の「多様な価値」を活かして、未来をつくる－（第1期）**」（平成30年度～令和4年度）が終了。

令和5年3月に「**文化芸術推進基本計画（第2期）－価値創造と社会・経済の活性化－**」（令和5年度～令和9年度）が閣議決定。**4つの中長期目標、7つの重点取組、重点取組に関連した16の施策群で構成**

中長期目標は第1期計画を踏襲しつつ、重点取組、施策群にて、ポストコロナでの文化芸術の推進や文化活動の地域移行、アーツカウンシルの強化、デジタル技術の活用等を盛り込んでおり、「文化芸術と経済の好循環の創出と加速」を図ることにより、地域活性化及び経済成長を促進し、「文化芸術立国」の実現を目指すとしている。

- ・平成30年6月「障害者による文化芸術活動の推進に関する法律」施行
- ・令和2年5月「文化芸術観光拠点施設を中核とした地域における文化観光の推進に関する法律」施行
- ・令和4年4月「博物館法」改正

■高松市の文化芸術の現状と課題

●第2期計画の検証

第2期計画では4項目の指標を設定しており、成果が現れている指標も一部ありますが、各指標とも目標値に達しておりません。その要因として、計画期間中の大半がコロナ禍と重なったことが考えられますが、今後は、このような社会状況の変化を的確に捉えた文化芸術活動への対応を検討する必要があります。

指標	現状値 (平成30年度)	目標値 (令和5年度)	実績値 (令和5年度)
自分自身が文化芸術活動をした人の割合	17.5%	25%	17%
文化芸術を鑑賞した人の割合	49.3%	55%	51.9%
文化芸術が盛んなまちだと思ふ人の割合	49.1%	60%	48.5%
市の取組に対し満足だと思ふ人の割合	43.8%	50%	47.3%

※高松市の文化芸術に関する市民アンケート調査の結果より

●高松市の文化芸術に関する市民アンケート調査の結果（抜粋）

○高松市の文化芸術がもっと盛んになるために市が行うものとして何が必要か（上位3つ）

- ・文化芸術活動に関する情報の提供... 15.2%
- ・資金的援助による文化芸術活動の支援... 13.1%
- ・子どもたちに対する文化芸術活動の充実... 13.0%

○市民の文化芸術活動がもっと盛んになるために、市民や文化団体、企業などの民間が行うものとして何が必要か（上位3つ）

- ・観覧・鑑賞の機会の提供... 21.5%
- ・文化芸術関係の催し、活動を数多く開催する... 17.3%
- ・市民に対する文化芸術活動に関する情報の提供... 15.0%

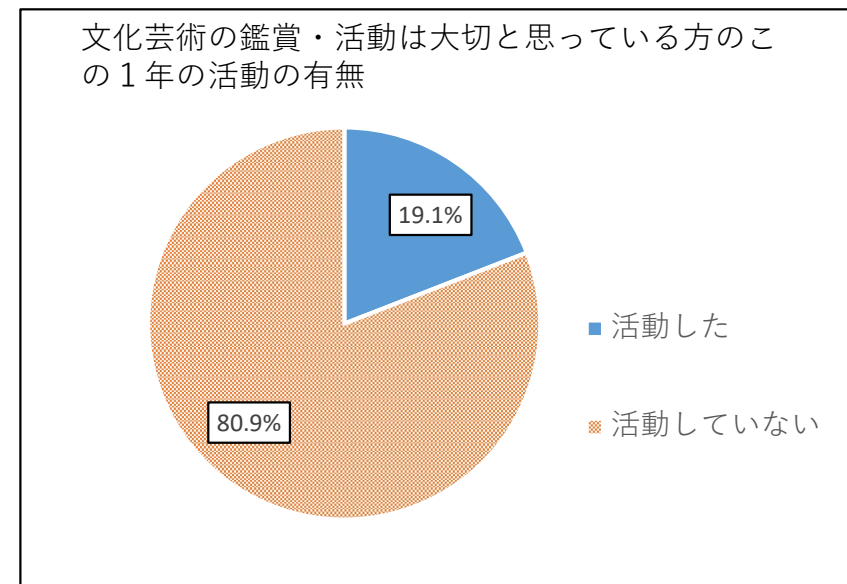
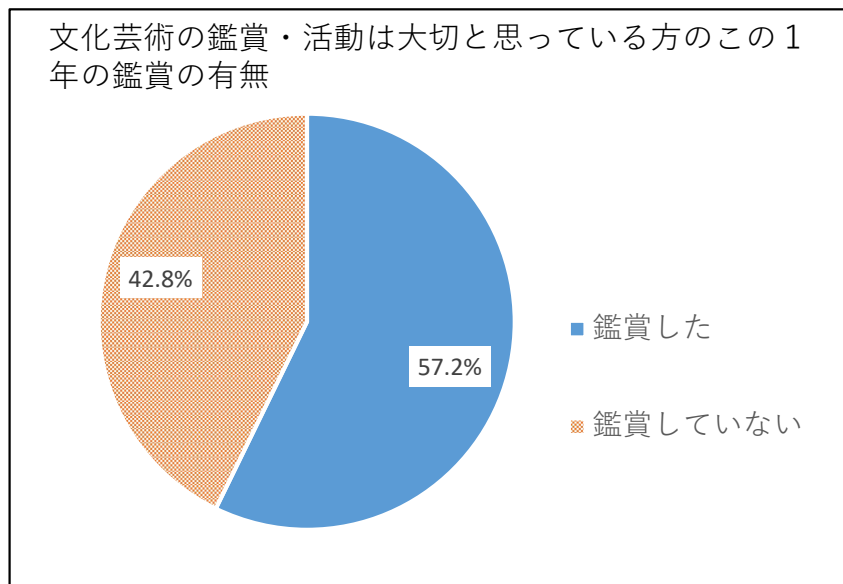
●文化芸術の振興に関する施策への満足度と重要度

指標	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
文化芸術の振興に関する施策への満足度	46.4% (60項目中4位)	50.5% (60項目中2位)	36.1% (60項目中10位)	42.8% (60項目中5位)	40.6% (60項目中5位)
文化芸術の振興に関する施策への重要度	59.8% (60項目中41位)	63.2% (60項目中48位)	56.7% (60項目中49位)	58.2% (60項目中52位)	54.9% (60項目中51位)

※市民満足度調査の結果より

●課題





- ・ コロナ禍前の状況に回復させるための文化芸術施策の推進
- ・ 誰もが文化芸術の価値を享受できる環境を整備しウェルビーイング（心身と社会的に健康な状態であること）の向上
- ・ より多くの市民に文化芸術の鑑賞や活動への参加を促す取組の推進
- ・ 子育てや就職を機に文化芸術への関わりが少なくなった市民が再び参加できる取組の実施
- ・ アンケート調査にて「市民の文化芸術活動がもっと盛んになるために、市が行うものとして何が必要か」の項目の回答で上位であった「文化芸術活動に関する情報の提供」、「資金的援助による文化芸術活動の支援」、「子どもたちに対する文化芸術活動の充実」等の取組の推進



目指すべき都市としての姿

文化芸術を通して、市民が生き生きと心豊かに暮らせるまち高松の実現



方針1 はぐくむ・いかす	方針2 であう・ひろがる	方針3 つなぐ・あむ	方針4 つたえる・たのしむ
<p>市民を始め、文化芸術の担い手の自主性や創造性を十分に尊重する</p>  <p>0才からのコンサート</p>	<p>誰もが、文化芸術に広く親しむことができる環境を整える</p>  <p>まちなかパフォーマンス事業</p>	<p>文化芸術の担い手が協働し、個性豊かで魅力に満ちた創造都市高松を創出する</p>  <p>文化芸術プラットフォーム構築</p>	<p>伝統を継承するとともに、新たな文化芸術を享受・創造する</p>  <p>SANUKI ReMIX事業</p>

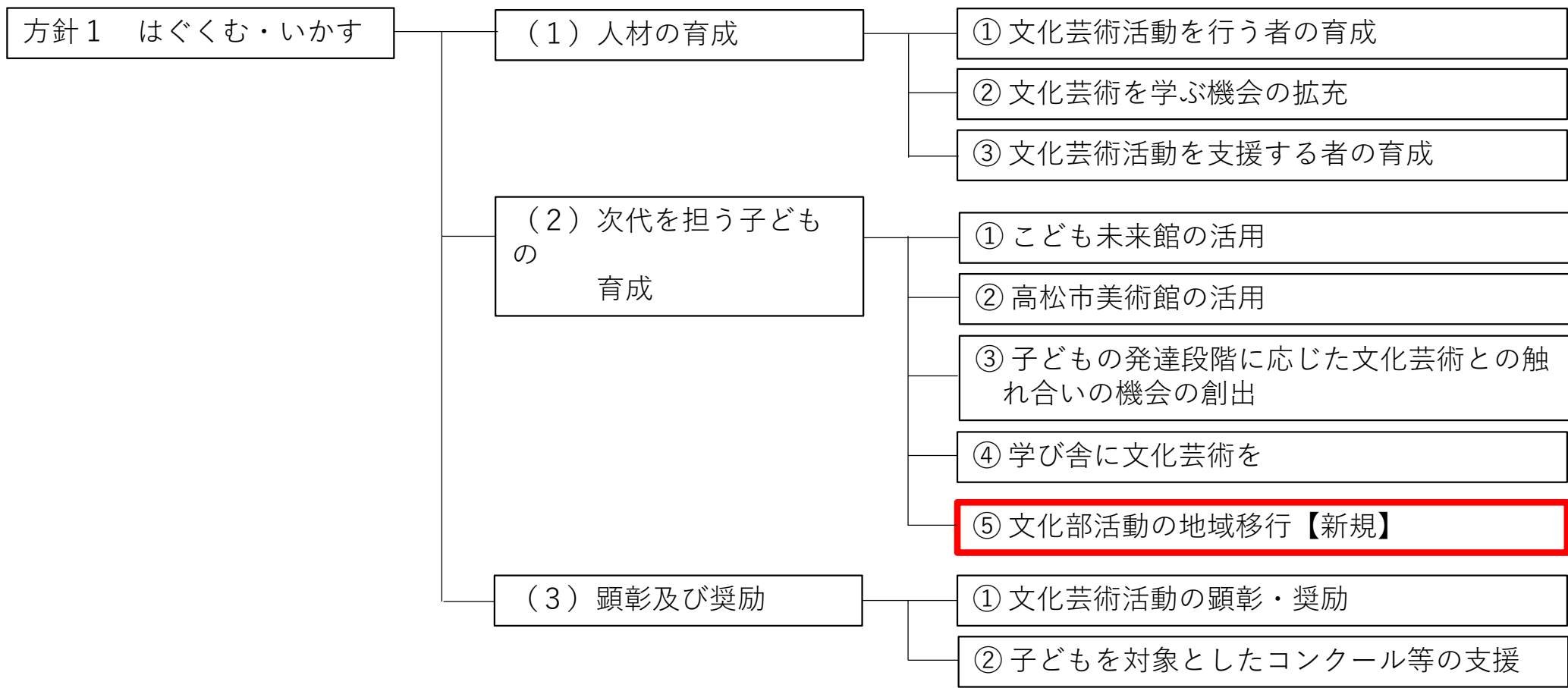
■数値目標

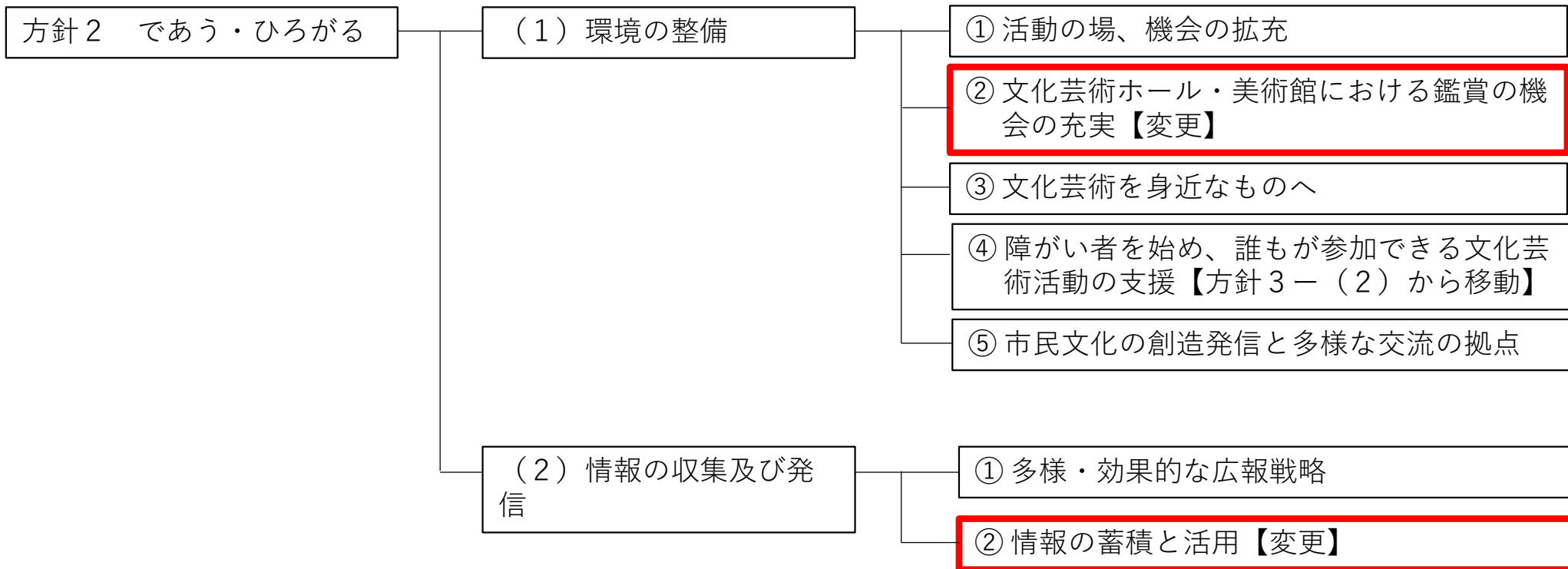
文化芸術を鑑賞し、また自ら活動に参加するなど、文化芸術に触れ合い親しむ施策を4つの方針に基づき展開した結果として、その成果を総合的に判断する指標と数値目標を、次のとおり定めるものです。

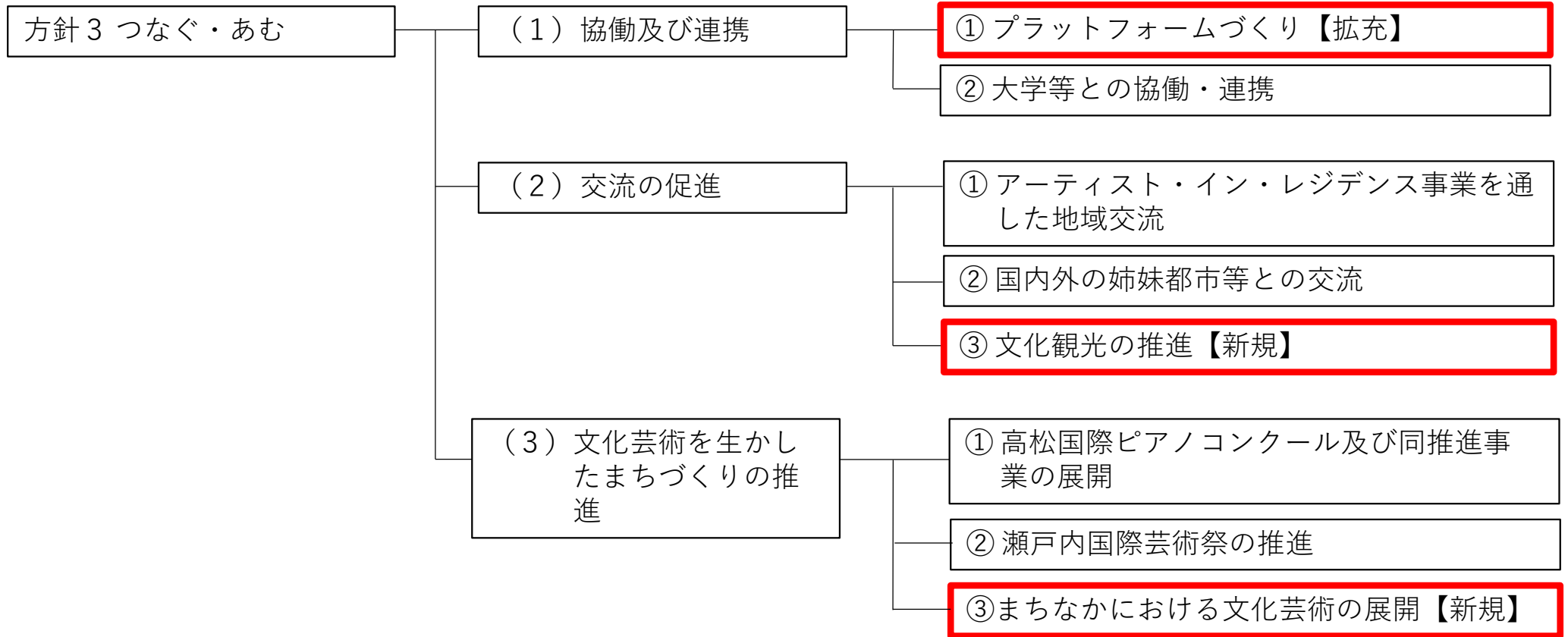
指 標	平成30年度	現状値 (令和5年度)	目標値 (令和10年度)
「自分自身が文化芸術活動をした」人の割合	17.5%	17.0%	30%
「文化芸術を鑑賞した」人の割合	49.3%	51.9%	60%
「文化芸術が盛んなまちだと思う」人の割合	49.1%	48.5%	65%
「市の取組に対し満足だと思う」人の割合	43.8%	47.3%	55%

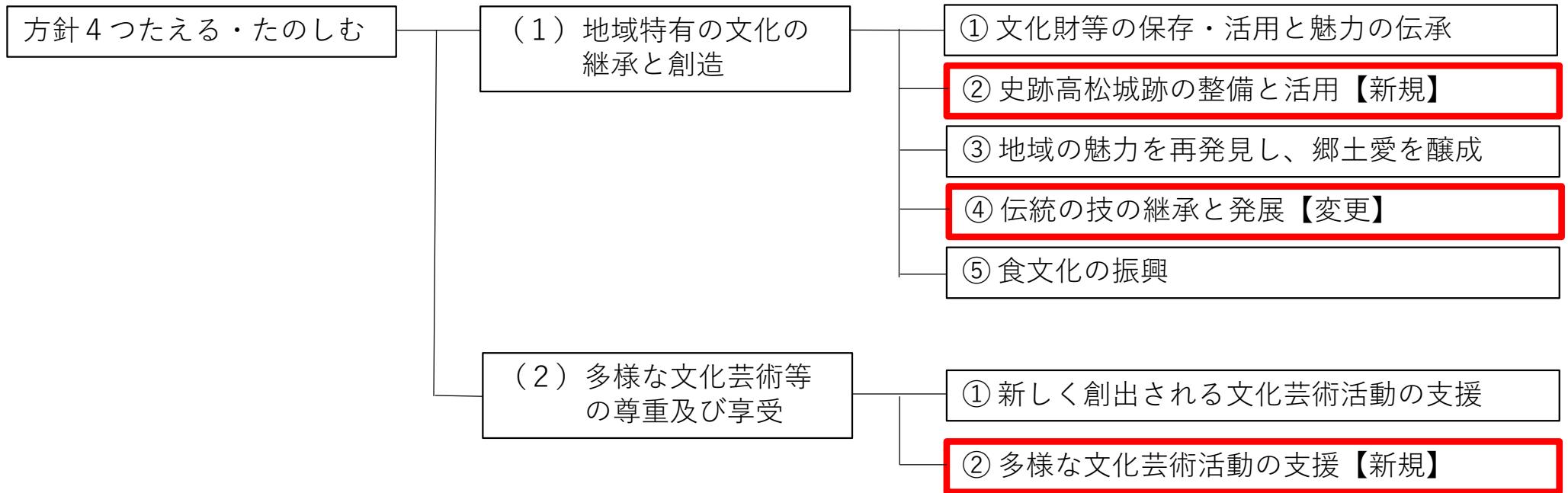
■ 計画の体系

4つの「方針」、10の「基本的施策」、32の「具体的取組」で構成









■今後の取組（新たに計画に掲載する主な事業【抜粋】）

方針1 はぐくむ・いかす ～市民を始め、文化芸術の担い手の自主性や創造性を十分に尊重する

(1) 人材の育成

①文化芸術活動を行う者の育成

事業名	事業概要	担当課
地域アーツカウンシルによる中間支援事業	高松市版文化芸術プラットフォーム内に設置される地域アーツカウンシルを中心に市民の文化芸術活動に関する相談や市内の文化芸術の実情のリサーチ、文化芸術活動に関する助成等を行うことで、あらゆる市民が文化芸術の担い手の主体となるよう、専門人材を活用した中間支援に取り組む。	文化芸術振興課

(2) 次代を担う子どもの育成

⑤文化部活動の地域移行

事業名	事業概要	担当課
文化部活動の地域移行	高松市地域部活動検討委員会での意見や国の動向、他市の事例を参考に、学校や地域の実情に応じた地域移行となるよう取組を進める。また、担当する教員が、指導に係る専門性を十分に備えていない場合も多く、日常の指導や休日の活動に負担を感じている状況があることから、教員の負担軽減や専門性の高い指導を生徒が受けられることが目的である。	学校教育課

方針2 であう・ひろがる ～誰もが、文化芸術に広く親しむことができる環境を整える

(1) 環境の整備

③文化芸術を身近なものへ

事業名	事業概要	担当課
ブランチギャラリー事業	高松丸亀町商店街組合との連携事業として、高松丸亀町商店街の「しごとプラザ」ショーウィンドーに開設中の「ブランチギャラリー」において、年間を通して特別展等と連携するなど多彩な展示を行う。	美術館美術課

⑤市民文化の創造発信と多様な交流の拠点

事業名	事業概要	担当課
市美術館エントランス活用事業（公募）	市美術館エントランスホールの活用を図り、来館者に気軽に文化芸術に触れてもらう環境を作るため、同ホールでコンサートやダンス等の公演を実施する団体を広く募集する。また、実施団体の発表の場としての活用にもつなげる。	美術館美術課
サンクリスタル高松リニューアル事業	老朽化が進む施設をリニューアルすることで、利用者の利便性の向上を図り、「市民に愛され地域に貢献するサンクリスタル高松」を目指す。	中央図書館
サンクリスタル高松リニューアル事業 （菊池寛記念館）	老朽化した展示設備の更新や、新たな収蔵品を含めた展示へと変更するなど、より多くの人々に菊池寛及び文学の魅力を伝え、親しまれる施設へとリニューアルする。	文化財課
サンクリスタル高松リニューアル事業 （歴史資料館）	老朽化した展示設備の更新や、新しい歴史認識に基づいた展示へと変更するなど、郷土の歴史をより深く理解できる博物館施設へとリニューアルする。	文化財課

方針2 であう・ひろがる ～誰もが、文化芸術に広く親しむことができる環境を整える

(2) 情報の収集及び発信

②情報の蓄積と活用

事業名	事業概要	担当課
情報の活用に関する伴走的支援事業	高松版文化芸術プラットフォーム内に設置する地域アーツカウンシルを中心に情報を収集、蓄積し文化芸術団体に提供のみに留まらず、情報の活用までの中間支援を実施する。	文化芸術振興課
高松アートポータル事業（仮称）	オンライン上の申請フォームで市内の文化芸術団体から公演等の情報を広く収集し、高松市公式ホームページ上に掲載する。ホームページに掲載した情報を月に2回程度集約しSNS上で発信する。	文化芸術振興課

方針3 つなぐ・あむ ～文化芸術の担い手が協働し、個性豊かで魅力に満ちた創造都市高松を創出する

(1) 協働及び連携

①プラットフォームづくり

事業名	事業概要	担当課
高松版文化芸術プラットフォーム事業	文化芸術に関わる様々な分野の人材が気楽に集まり、共に知恵を出し合いながら、高松市の文化芸術を牽引していくような場（文化芸術プレイヤーズ・プラットフォーム）を創出するとともに、（公財）高松市文化芸術財団に地域アーツカウンシルとしての機能を付与し、地域アーツカウンシルを支援の中核とする、高松版文化芸術プラットフォームを構築することにより、アート・シティ高松の推進を図る。	文化芸術振興課

方針4 つたえる・たのしむ ～伝統を継承するとともに、新たな文化芸術を享受・創造する

(1) 地域特有の文化の継承と創造

② 史跡高松城跡の整備と活用

事業名	事業概要	担当課
高松城跡整備事業	史跡高松城跡の歴史的建造物の再現や耐震補強、修繕等の整備を計画的に行うとともに、文化財の公開活用を積極的に行うことで、地域の活性化につなげる取組を行う。	文化財課

③ 地域の魅力を再発見し、郷土愛を醸成

事業名	事業概要	担当課
屋島活性化推進事業	屋島や牟礼・庵治などの周辺地域の歴史・文化、自然、景観などの特性を生かし、源平屋島地域の更なるにぎわい創出や環境整備を図る。	観光交流課 観光エリア振興室

⑤ 食文化の振興

事業名	事業概要	担当課
高松ブランド農産物育成支援事業	讃岐の郷土料理を伝達等を目的に開催する「たかまつ食と農のフェスタ」において、讃岐高松の郷土料理を紹介し、地域の食材を身近に感じていただける取組を行う。	農林水産課

方針4 つたえる・たのしむ ～伝統を継承するとともに、新たな文化芸術を享受・創造する

(2) 多様な文化芸術等の尊重及び享受

①新しく創出される文化芸術活動の支援

事業名	事業概要	担当課
デジタル技術を活用した情報のアーカイブ化	デジタル化の潮流を踏まえ、多様な文化芸術に関する情報についてのアーカイブ化を図る。	文化財課 美術館美術課

②多様な文化芸術活動の支援

事業名	事業概要	担当課
多様な文化芸術活動の支援	漫画やアニメーション、メディアアートなど多様な文化芸術の支援に向けた調査を行う。	文化芸術振興課
コンテンツツーリズム推進事業	瀬戸内国際芸術祭の舞台である島々では、芸術祭会期外の地域活性化が大きな課題になっているため、地元観光協会と連携の上で、ゲーム作品、男木島灯台、灯台資料館、キャンプ場等の地域資源をブラッシュアップしながら活用することで、地域が継続的に稼ぎつつ、広く市内全体にも経済効果を波及させる仕組みを構築するもの。	観光交流課

■計画の推進

●計画を推進する庁内体制の整備

教育、福祉、まちづくり等、多岐にわたる施策・事業を総合的かつ効果的に推進するため、文化芸術振興課において、関係部局の連携や調整を行い、取組を積極的に進める。

●協働による計画の推進

市民・団体・学校・高松市文化芸術財団・市がそれぞれの役割・責務を果たすとともに協働しながら、また、関係機関との連携し、積極的な推進を図る。

●計画の広報・啓発

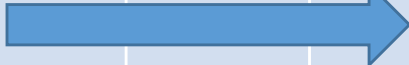

市民や関係団体・組織、企業等に対して様々な媒体や機会を活用して積極的に広報を行うなど、計画の周知に努める。

●計画の進行管理

年度ごとに計画及び実績・課題等を取りまとめ、学識経験者等により構成される「高松市文化芸術振興審議会」に状況を報告し、施策全体の観点から個別事業について、専門的見地や市民の意見を反映した意見を受け評価します。また、「高松市文化芸術振興審議会」からの意見を踏まえ、課題解決に向け、必要に応じて、中間年度にもアンケートを実施し、計画内容や次年度における実施事業の見直し、新規事業の検討等を行います。

文化芸術の特性上、数値的な側面のみでは成果を測りにくい場合があるため、地域アーツカウンシルと連携・協力し、より効果的な評価方法を検討していきます。

■次期計画の策定スケジュール

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
文化芸術振興課	素案作成 					パブリック コメント 		▲ 計画 策定	▲ 計画公表 4/1
高松市文化芸術振興審議会	▲ 第1回 8/22	▲ 第2回 9/25	▲ 第3回 10/24	▲ 答申 10/27			▲ 第4回 2月中		
政策会議 教育委員会 議会				▲ 政策会議 11/10	▲ 教育委員会 定例会 11/21	▲ 議会 調査会 12月中			